

業績ハイライト

Kirayaka Bank

主な経営指標

■連結

(単位：百万円)

	平成23年9月期	平成24年9月期
連結経常収益	12,718	13,233
連結経常利益	1,089	845
連結中間純利益	1,121	803
連結純資産額	50,053	52,971
連結総資産額	1,277,650	1,342,893
1株当たり純資産額	229.30円	243.98円
1株当たり中間純利益	7.39円	4.95円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	2.70円	2.27円
連結自己資本比率(国内基準)	9.33%	9.12%

■単体

(単位：百万円)

	平成23年9月期	平成24年9月期
経常収益	12,350	12,913
経常利益	980	743
中間純利益	1,057	765

- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
 3. 連結自己資本比率(国内基準)は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

営業の概況

■損益の状況(連結)

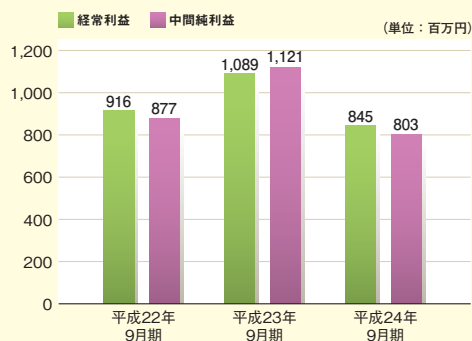
当中間連結会計期間の損益につきましては、連結経常収益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少等があったものの、市場環境を考慮しポートフォリオの見直しを実施したことから、前年同期比5億15百万円増加の132億33百万円となりました。

一方、連結経常費用は、不良債権費用の増加により、前年同期比7億59百万円増加の123億88百万円となりました。

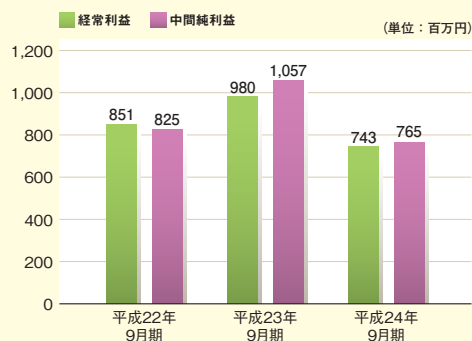
その結果、連結経常利益は、前年同期比2億44百万円減少の8億45百万円となりました。

また、連結中間純利益は、前年同期比3億18百万円減少の8億3百万円となりました。

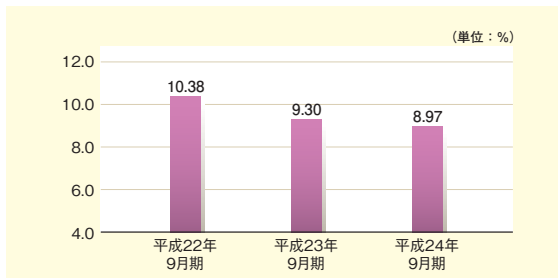
経常利益・中間純利益の状況(連結)



経常利益・中間純利益の状況(単体)

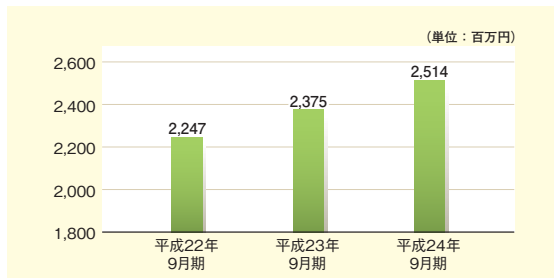


自己資本比率の状況（単体）



単体自己資本比率は、中間純利益による自己資本の積み上げを図ったものの、リスクアセットが増加したこと等から、前年同期比0.33%低下の8.97%となりました。

コア業務純益の状況（単体）



銀行の本業部分の収益を表すコア業務純益につきましては、前年同期比1億39百万円増の25億14百万円となりました。

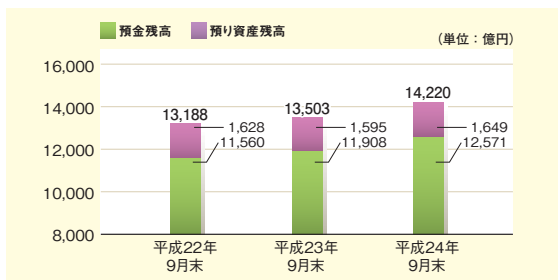
用語解説

- **コア業務純益** | 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益の事を指します。
- **経常利益** | 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
- **当期純利益** | 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

業績ハイライト（単体）

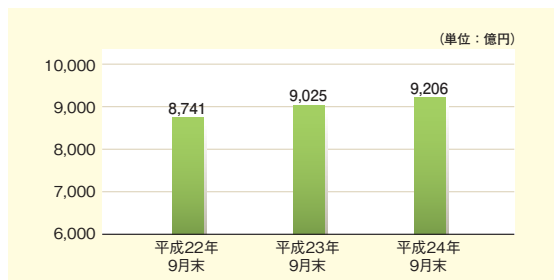
Kirayaka Bank

預金・預かり資産の状況



預金残高は、「山形応援シリーズ」やインターネット支店専用定期預金等を中心とした企画定期預金の充実で前年同期比662億円増加の1兆2,571億円となりました。

貸出金の状況



貸出金残高は「本業支援・最適提案」の取り組みを徹底したことから、前年同期比180億円増加の9,206億円となりました。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

※連結自己資本比率（国内基準）及び単体自己資本比率（国内基準）は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

※預金には譲渡性預金を含みません。

※決算の詳細につきましては、きらやか銀行ホームページ（<http://www.kirayaka.co.jp/>）よりご覧いただけます。